



平成27年10月15日

- 2・3面 まつかわハーフマラソン
- 4面 まつかわ大学・音楽祭
- 5面 みんなで仲良く
- 6面 みんなの宝
- 7面 スポーツ・情報
ひと・すぼっと
こどもの詩・俳句・短歌
- 8面 声・視点・ペンペン草



「収穫」(二十世紀)

9月中旬、二十世紀梨収穫も追い込みです。

広義の文化財とは、人類の文化活動の客観的所産のこと、平たく言えば人間が創り出したすべてのものを指します。戦後、文化財保護法の制定により地方公共団体に文化財保護条例が制定されましたが、当時の文化財保護に対する一般的な考え方は優品主義・重点指定主義をとっていました。これは文化財のうち、芸術上・学術上価値の高いもののみを重点的に保護しようとする考え方で、ともすると歴史上の人物や事象、美的感覚に偏り、圧倒的に多く存在する指定範囲外の文化財が保護されず、ことに地域の歴史資料や民俗資料が忘れ去られ十分な保護が受けられないという問題もありました。また文化財指定がある種の権威付けというような誤った理解さえも生まれました。

文化財には様々なものがあるわけですが、私たちに最も身近なものに民俗文化財があります。衣食住・生業・信仰・年中行事等に関する風俗習慣・民俗芸能・民俗技術およびこれらに用いられる衣服・器具・家屋その他の物件です。これ等は先人が「生きる」ために培ってきた有形・無形の様々なもので、個人に帰するものは少なく、多くは地域住民が共同で伝え残してきたものです。

戦後社会の急激な変貌は地域から民俗文化財の多くを消滅、あるいは衰退させ、継承を途切れさせてしまいました。近年、地域の伝統的な民俗文化への回帰が強い機運となってきました。これを単なる過去へのノスタルジアにとどめることなく、民俗文化財の正しい理解、記録、保存、公開を積極的に行っていく必要があります。

民俗文化財は民衆の暮らしの推移の理解のため欠くことのできないもので、かけがえない地域の宝です。

主張

身近な民俗文化財に目を

酒井幸則

はじめの一歩～

まつかわ ソン大会

百周年記念

の マラソン



10月4日(日)、第1回 南信州まつかわハーフマラソン大会が初開催されました。町内全地区をハーフマラソンコースと、5km、3kmコースに分かれ1,052人が参加しました。参加したランナーのみなさんは、秋空のもと爽やかな汗を流しました。

結果は6面に記載してあります。





高低差
250mの
段丘コース!!

~100年からの
第1回 南信州
ハーフマラ
果樹栽培

はじめて ハーフ



がんの最新治療 「がんは100までなせる」

平成27年度「まつかわ大学」第2講座

「癌」

この漢字を見るだけで、不治の病、死ぬしかないのだ、と思わされてしまいます。それだけこわい病気ですが、予防・早期発見・適切な治療で治すことができるそう。

9月12日のまつかわ大学は戦う腫瘍内科医・佐々木康綱先生を講師に、がんについてのお話しをお聞きしました。

今、日本における死亡原因のトップは、がん。近年増加している大腸がんは、食生活の欧米化によるものといわれています。又、昔は寿命が短く、がん年齢まで生きられなかったため死亡原因にならなかったとも。

先生のお話しは、モニター画像を見ながらすすんでゆく



のですが、専門用語やら難しい数字やらが続き理解不能状態に。メモをとるのも忘れ、聞くことに専念しましたが、学生時代から何十年過ぎて久しくなかったことです。

初期のがんは特有の症状が無いので、定期検診を受け、疑問は医者に相談。心配事が解決したらストレスをためず暴飲暴食をしない規則正しい生活。適度な運動と適切な体重の維持につとめる、など、あたりまえな事がやっぱり大切なのだとわかりました。

阿南町出身の佐々木先生のティーベアのような、やさしさあふれる笑顔に心ひかれた午後でした。



第26回 松川町 音楽祭



9月6日(日)に第26回松川町音楽祭が合唱4団体、合奏6団体が参加して開催されました。今回は、松川町消防団ラッパ班が日頃の訓練の成果を披露し、勇壮なラッパを響かせてくれました。



明るい社会を作るために
私にできること

北小学校6年 大蔵 歩楓

明るい社会を作っていくために、私にできることの一つは、「あいさつ」だと思っています。「あいさつ」は、だれでもできる「ま法の言葉」です。私は、登下校のとき、必ずあいさつをしています。あいさつを返してもらえると、明るい気持ちになります。小学校の「あいさつ隊」があいさつをしてくれるのも、みんなを明るくしようと考えていると思います。

でも、あいさつができない人もいます。あいさつをする習慣がない人にあいさつをする、あいさつが返ってこない、と、「もう、あいさつはしたくない。」と思ってしまう

こともあると思います。私も実際そういう時がありました。そんな時、私に毎日あいさつをしてくれたおじさんがいました。そのおじさんとあいさつをするうちに、私はまた、みんなとあいさつができるようになった。その時、私は、「だれかがあいさつをすれば、あいさつをされた人がまただれかにあいさつをしてつなげていく」と思いました。それから、私は、自分からあいさつをするようになりました。

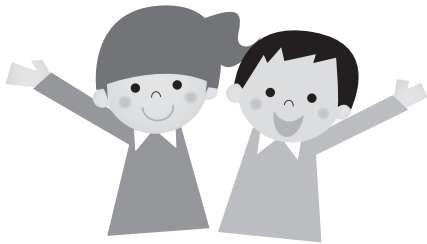
あいさつのもう一つのいいところは、知らない人ともできるということだと思います。知らない人に急に話しかけることはできません。でも、「あいさつ」なら知らない人でもできます。明るくあいさつし合うといい気持ちになります。これが、「あいさつ」のとてもいいところだと思います。

社会を明るくするもう一つのことは、「みんなと協力して助け合う」ことだと思います。

最近、みんなのことを気にして、「一人でやるう」と思ってしまうときがありました。人に迷わくをかけないようにと

やってきたけど、一人でできないときもあります。そういう時に助けてくれるような仲間を作りたし、だれかが困っていたら、さつと手を差し延べられるような人になりたいと思います。協力し、助け合うことによつて人とつながり、ほかの人たちとの会話も増えていくと思います。

私が考えた二つは、身近なところでできる方法です。私は、この二つをクラスのみんなや家族といっしょにやっていきたいと思っています。「あいさつ」や「助け合い」を自分からやって、「笑顔の輪」を広げていきたいと思っています。



松川町指定文化財
第5回

今回は今ちょうど見頃のツツザキヤマジノギクの紹介をします。昨年私が初めてこの花を見たのは、秋、天竜川の小石がごつごつしている、普通花など咲きづらそうな河原に咲いていました。「河原の星の花」とも言われているそうです。

全国でも長野県天竜川流域のごくごく限られた場所でのみ生息し、長野県レッドデータブック・絶滅危惧ⅠA類になっている希少な植物です。町では平成7年3月、松川町の天然記念物として指定文化財の仲間入りをしました。

特徴は花びら（舌状花）が筒状に咲きます。時には花びらの先が2つに割れたもの、筒状にならず先が細かく割れたものなど変化に富んだ形の花が見られます。



ツツザキヤマジノギクの花

春に発芽し翌年の春までロゼット葉の形態、夏に花の茎を伸ばし、秋に1度だけ花を咲かせた後、実を結び、枯死します。種子の寿命が短いため、親株が居なくなってしまうと絶滅してしまうことから、保護することが強く望まれているのです。

今、外来植物が玉石河原に侵入して在来植物の生息を脅かしています。オオキンケイギク、シナダレスズメガヤ、ハリエンジュ、アレチウリ、オオブタクサ等、その繁殖力はすさまじいものです。在来植物を守るためにも外来植物を駆除し、生育環境を維持する取り組みが必要です。



外来植物のオオキンケイギク

毎年「ツツザキヤマジノギク観察会」が天竜川の河原で開催されます。実際に咲いている花を見、専門家の先生方に説明をしていただき、花の咲いている株の数を数えて植物調査をし、皆で周辺の草取りを行っています。ツツザキヤマジノギクを知るための絶好の機会です。

10月中頃から可愛らしい花が咲いています。この機会に是非天竜川に出掛けてみてはいかがでしょうか。



松川町資料館 宮崎久美

秋晴れのもとで
スポーツ！

中部伊那軟式野球松川大会

9月20日(日)に町内グラウンドで第31回中部伊那軟式野球松川大会が開催されました。結果は次のとおり。

優勝

松川ファイターズ(松川町)

準優勝

ファイヤーフレンズ(飯田市)

第3位

I W A M U R A 会(飯田市)

夜間ソフトボールリーグ

10月16日(金)に平成27年度夜間ソフトボールリーグの閉会式が開催されました。リーグ戦の結果は次のとおり。

Aリーグ

優勝 大栢

準優勝 城北A

第3位 松川

Bリーグ

優勝 北垣外クラブ

準優勝 桑西クラブ

第3位 南方クラブ

第1回 南信州まつかわ
ハーフマラソン大会
結果

総合

※太字は町内参加者

ハーフマラソン男子

第1位 中垣 茂雄

1時間19分6秒

(岐阜県瑞浪市)

第2位 隅 誠一郎

(愛知県豊田市)

第3位 林 弘和

(岐阜県恵那市)

第4位 藤澤 孝司

(三重県鈴鹿市)

第5位 堀 伸嘉

(愛知県岡崎市)

第6位 泉崎 聖徳

(長野県松川町)

ハーフマラソン女子

第1位 長坂 恵子

1時間26分17秒

(愛知県豊田市)

第2位 中村 麻季子

(愛知県名古屋市)



仮装賞もありました

第3位 河合 京子

(愛知県豊田市)

第4位 松本 洋子

(愛知県岩倉市)

第5位 腰原 可与

(茨城県守谷市)

第8位 鈴木 紀美江

(長野県松川町)

5km男子

第1位 北原 崇志

16分5秒

(長野県伊那市)

第2位 池田 昌雄

(愛知県春日井市)

第3位 早川 友也

(岐阜県中津川市)

第4位 飯田 将博

(愛知県みよし市)

第5位 加藤 金市

(静岡県浜松市)

5km女子

第1位 兼松 藍子

19分34秒

(愛知県名古屋市)



ファミリーで参加

第2位 杉浦 美由紀

(愛知県蒲郡市)

第3位 谷口 由香

(愛知県豊田市)

第4位 長坂 帆夏

(愛知県豊田市)

第5位 片桐 幸那

(長野県松川町)

3km男子

第1位 出澤 周大

10分54秒

(長野県駒ヶ根市)

第2位 原 阿天夢

(長野県飯田市)

第3位 宮澤 柗太

(長野県飯田市)

第4位 小野 太陽

(愛知県江南市)

第5位 藤本 憲伸

(長野県飯田市)

第10位 福島 圭亮

(長野県松川町)

3km女子

第1位 佐藤 悠花

11分5秒

(長野県松川町)



そろってフィニッシュ

第2位 筒井 心葉

(長野県飯田市)

第3位 松下 朋佳

(長野県飯田市)

第4位 佐々木 美羽

(長野県飯田市)

第5位 佐藤 綾花

(長野県松川町)

部門別(町内参加者)

ハーフマラソン

高校生以下男子

第2位 泉崎 聖徳

第3位 北原 和喜

高校生以下女子

第4位 米山 遼

40歳以下女子

第3位 鈴木 紀美江

5km

中学生以下女子

第2位 片桐 幸那

3km

小学4~6年生女子

第1位 佐藤 悠花



長い公民館活動で得たもの 県公民館活動推進功労者表彰を受賞

湯澤 秀樹さん (増野)

平成11年4月から平成27年3月までの16年間という長い期間、中央公民館社会部員として活動されてきた湯澤さんは今年、長野県公民館活動推



進功労者表彰を受賞されました。湯澤さんに、受賞した時のお気持ちを聞ききたところ、嬉しいという気持ちではなく表彰されるんだという気持ちだったそうです。しかし、長い公民館活動を通じて諸先輩方には大変お世話になり、また多くの人との繋がりができたことや知り合いが増えたことはとてもよかったです。おっしゃっていました。

現在、湯澤さんはご自宅で

観光農家をされており、多くの観光客で賑わい、忙しい毎日を送っていらっしゃいます。

今回の湯澤さんの受賞を受け、私たち現三部部員一同もまた気を引き締め、公民館活動はもちろん、地域の方との繋がりを大切に町内活動に積極的に取り組んでいきたいと思えます。

長い公民館活動、大変お疲れ様でした。そして、今回の受賞本当におめでとうございます。

すぽっと

フォレストアドベンチャーを体験

下伊那郡町村公民館運営協議会主事会現地研修会

9月11日に下伊那郡町村公民館運営協議会主事会の現地研修会が、郡内の公民館主事15名が参加し開催されました。

この研修会は、各町村の文化、事業、施設等を知り、活動に活かしていくために毎年開催されているもので、今年度は県内唯一のフォレストアドベンチャーである松川町のフォレストアドベンチャー・松川にて開催されました。

主事たちは、地上10mの高所と44ものアクティビティに時には恐怖し時には楽しみ、また日頃動かしていない身体が軋むのを感じているようでした。

各町村で同じ物とはいかなくとも、自らの身体を一杯使った研修となり、この体験を今後の活動にどう活かすか、ヒントが得られた研修会であったのではないのでしょうか。



詩

おてつだい
中央小2年

大場ゆづき

くたものがりの
おきやくさんの車が
百二十台 来たよ。

バスも たくさん来た。

ぶどうやなしや

りんごがりに来てくれた。

ほくは、

お店のてつだいをした。

ぶどうのみを

おとさないように

ぶくろに入れた。

むずかしかったけど、

おきやくさんが、

「おいしい。」

と、言ってくれた。

うれしかったです。

わくわくしたよ

中央小2年 小林しゅうと

くりと

まつたけをとつたよ。

さいしよに

くりを二十こ。

それから

まつたけが十本も

とれたよ。

はじめで

じびんでとつたまつたけ

わくわくしたよ。

つきはもつと

たくさんとりたいな。

俳句

北原 泊瀬 (宮坂)

夜長

揺るること

忘れ燃えけり曼珠沙華

征きし人へ

熱きコーヒー秋彼岸

下り立ちて匂う稲の香飯田線

よろずやの如き針箱夜長かな

高齢者講習了えし月今宵

短歌

有賀 愛 (北垣外)

四方の梨の袋を掛け終えて友は日除けをとりて語らう

空を凌ぐさまに咲きたる百日紅八月六日の谷の家々に

終の齢息らに越されてわが家では夫が一番若くなりたり

弱かりし姑の筆筒に残りおり

六神丸の小さき袋

夏水仙水引草の紅咲きて良き

こときつとあるやもしれず



今月の公民館

全て取り壊され、9月28日(月)には安全祈願祭が行われました。



トランポリン教室 **声**

新井南部 伊久間 夢愛

町のトランポリン教室へ行きまし。私は去年あんまりうまく飛べなかつたので、今年もつとじようずに飛べたらいいなと思つて参加しました。1日目、最初のうちははなかなか飛べま



せんでした。しかしと中から勇気をふりしぼり飛んでみました。1回飛んでみるとジャンプするのがとても楽しかつたです。その日は、飛び方の基本を教えてもらいました。足

を曲げずにジャンプすると上手に飛べました。2日目は、おしりやひざをついてジャンプしたり、もつと高く飛ぶコツを教えてもらいました。前回よりとてもじょうずに飛べて自分でもびつくりしました。最後に賞状をもらつてうれしかつたです。がんばつて飛んだ成果が出たからとてもうれしかつたです。もし、来年もあるなら今年よりもつとまくなるように行きたいと思ひます。

上片桐公民館の歴史めぐりは、歩きながら知識欲を満たすことができるため、都合のつくかぎり参加している。生まれ育つた所で知つているつもりでも、新しい発見があるのは楽しいことである。今回は、部奈地区の史跡探訪。何人か知り合いもいるが子どもの頃に訪れただけで、ほとんど知らないといえる。朝は残つていた雨も、始まる時間が近づくとつれてあがり、さわやかなうちに部奈へ。松川町指定文化財の桃井城跡はこんもりとした土塁のまわりに堀切をつくつた跡が見られ、南北朝時代の宗良親王に従事した桃井氏の城と伝えられてい。近くには物見の松、宮ヶ瀬井戸跡があるが、文献資料は発見されておらず残念な気がする。昭和58年の農村整備モデル

上片桐公民館の歴史めぐりは、歩きながら知識欲を満たすことができるため、都合のつくかぎり参加している。生まれ育つた所で知つているつもりでも、新しい発見があるのは楽しいことである。今回は、部奈地区の史跡探訪。何人か知り合いもいるが子どもの頃に訪れただけで、ほとんど知らないといえる。朝は残つていた雨も、始まる時間が近づくとつれてあがり、さわやかなうちに部奈へ。松川町指定文化財の桃井城跡はこんもりとした土塁のまわりに堀切をつくつた跡が見られ、南北朝時代の宗良親王に従事した桃井氏の城と伝えられてい。近くには物見の松、宮ヶ瀬井戸跡があるが、文献資料は発見されておらず残念な気がする。昭和58年の農村整備モデル

上片桐地区公民館歴史めぐり

上町 宮下 健二



事業の一環で発掘された前田遺跡。この遺跡を代表するものとしての配石遺構は、小渋川や天竜川の河原石を、葬送儀礼、祖霊崇拜などを目的として配置、組み合わせるようである。未来へと続く命を大切にしている人々の思いが感じられた。この後も何ヶ所か見て歩いたが、説明をしてくださった唐沢さんをはじめ、部奈の皆さんが手入れされた美しい場所を見られたことは大変、有意義だつた。

今年松川町果樹栽培百周年。この館報まつかわの表紙も、今年果樹栽培に関わる写真を掲載しています。養蚕が産業のほとんどを占めていた時代に、果樹を経営の主体として始めるにはどれほどの苦労と勇気が必要であつたのか想像がつかません。松川町の果樹栽培の歴史を学ぶ中で驚いたのは、現在果樹園となつている土地の多くが開墾地であつたことです。各地にたくさん残る「開墾記念碑」は、開墾が完了した記念、あるいは開墾してくれた先人への感謝の気持ちをこめて建てられています。果樹の植栽記念ではなく、開墾記念というところに、その苦労と重要性が感じられます。見慣れた果樹園風景。そして、本当においしい果物。みな、過去から現在に至るまで、大勢の人たちの苦労の上にあるのだと、自分の心にずしりと重く感じるものがありました。

公民館報
「まつかわ」
第 624 号
平成27年10月15日
発行所 松川町公民館
責任者 矢 澤 登
編集人 公民館編集部
Tel 36-2633
e-mail: c.kouminkan@matsukawa-town.jp
飯田市上郷黒田121
印刷所 龍共印刷(株)

光澤 正之

再生紙を使用しています。